

2026年03月10日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【トランプ大統領の発言】

先月末(2月28日土曜)、米国がイスラエルと共に、イランに対して「大規模な戦闘作戦」を開始した。

事実上のこの戦争は、激しい様相を見せて、長期化するのではないか、と危惧されていた。

しかし、昨日(3月9日)、トランプ大統領がテレビのインタビューで、「イランでの戦争は、ほぼ完了している」と発言した。

この発言を受けて、様々なマーケット(市場)で、イランでの戦争が終わりに近づいている、といった期待感が高まった

米国の株式市場は、大きく上昇に転じた。

原油市場では、高値圏から、わずかではあるが下落に転じている。

外国為替市場でのドル/円は、158円台から下落に転じ、157円台を付けている。

+++++

イランでの戦争が終結することは、望ましいと考えるが、果たして、トランプ大統領の思惑通りに事が運ぶのか、現時点では不透明と考えます。

トランプ大統領は、終結の時期は「すぐだ」と発言したが、その時期を、具体的には示さなかった。

また、イランで最高指導者の後継者が選出された。

その後継者は、殺害されたハメネイ師の次男モジタバ・ハメネイ師である。

モジタバ師は、反米路線を継承する、とみられている。

そうすると、トランプ大統領の発言通りに、すぐに終結できるのか、今後の展開を見なければ分からない。

+++++

しかしながら、様々なマーケット（市場）の多くの市場参加者が、トランプ大統領の発言に、大きな期待を寄せたことも事実だ、と考えます。

イラン情勢で、様々なマーケット（市場）が乱高下していることも、また、事実です。

このような場合は、ポジションを小さくして、リスクをミニマイズすることがセオリーです。

トランプ大統領の発言は、米国の中間選挙を意識した選挙対策を含んでおり、米国民向けのリップサービスといった意味合いもある、と考えます。

そして、トランプ大統領の発言は、過去の例から見ても、コロコロと変わることが多々ある、と考えます。

だから、トランプ大統領の発言にばかりに注目するのではなく、一喜一憂しないで、リスクをコントロールする必要がある、と考えます。

+++++

トランプ大統領の発言に対して、イスラエルからの具体的な発信が無いことも気になります。

換言すれば、イスラエルは、早期の終結に賛同していない可能性がある、と考えます。

+++++

(2026年3月10日東京時間12:45記述)